

総合的な学習の時間

わたしたちにできることpart2 ～防災～

日時：11月15日（水）第6校時

学年・学級：4年2組（32名）

指導者：高垣 佳歩

育成をめざす資質・能力：主体性 協働性 課題解決力 コミュニケーション力

1 単元について

地域や学校の特色と教師の願い

中之町には三原市学校林がある。この三原市学校林には昭和56年に植林されたヒノキの造林地が広がっている。しかし、その後約20年間放置され荒れた土地となってしまった。平成15年にNPO法人「フォレストサポートクラブ」が中心となり復活させた。さらに、その周囲には野鳥の森、樹木の見本園、自然観察道も整備され、現在ではピザ作りやしいたけ狩り、クラフト作り等も体験できる。

本校は令和2年度より学校林と関わり、探検したことを地域に伝えたり、学校林をよりよくする活動に取り組んだりしている。

学校林と関わることで、そのよさを地域に発信し発展させることができるだけでなく、土砂危険区域が全国で一番多い自分たちの地域における災害の被害を小さくするための方法を考え、学校林を守っていくことにつなげ、中之町を愛し、中之町の未来を創る児童を育成していきたい。

児童の実態

本学級の児童は、昨年度の総合的な学習の時間では、理科学習と関連付けながら学校林にはどんな生き物や植物がいるのか調べ学習をした。実際に学校林に行きフォレストサポートの方に聞き、模造紙やICTを活用してまとめた。

7月のアンケート調査では、「課題の解決に向けて自分で考えて、行動している」の問いや「自分で課題を立てて、情報を集め整理して、調べたことを発表する学習活動に取り組んでいる」の問いに対し、いずれも85%以上の児童が肯定的な回答をしている。一方で、「地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることができる」に対する回答は、77%で他の資質・能力と比べて低い数値である。この結果より、問いに対しては主体的に取り組むが、自分の地域を自分事として考えることが難しいことが分かる。

学習の題材

児童の興味・関心を単元の中心に据え、社会科「自然災害からくらしを守る」と関連付けながら「防災」を題材として扱い、学習を進める。2学期後半から学校林にどの種類の植物を植えるか検討し、プレゼンし整理・分析を行う。それを踏まえて、木の特徴などを考えて調べることを通して、これからの中之町を守るためにはどんな木がよいのか自分事として考えることができるようにする。学校林に植樹し、自分たちの活動や土砂災害の対策を校内に広めることで、中之町を守る取り組みをしていく。

調べ学習の中で「自然災害って何だろう」について情報を収集し、広島県の土砂災害警戒区域の数が全国で一番多いことに焦点を当て、探究課題を「地域のために、自分たちができることは何だろう」と設定する。災害対策を考える中で、植樹をすることが災害を防ぐことにつながることを焦点化し、得た知識や学んだことを通して、どの植物が妥当か各グループで検討し、最終的に全員で決定していく。このような学習過程を経ることで、仲間と話し合いながら自分たちが植えた植物が土砂災害を防ぐことにつながるという防災の取組を考え、校内に広める活動をすることで主体性や協働性などの資質・能力を育むことができる題材と言える。

単元の目標

広島県で多く発生している土砂災害について、県や市の防災の取組を考えることを通して、地域を支える人々の願いや努力を理解し、自分たちに何ができるかを考えることで、地域に親しみや愛着をもって貢献していこうとすることができるようにする。

2 「見方・考え方」を働かせ、深く学び合う指導の手立て

(1) 総合的な学習の時間における「見方・考え方」を働かせる手立て

○広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えるために

インターネットや本を活用し、自然災害のことや防災のための木の情報を収集することで、多様な角度から土砂災害の被害を少なくすることについて迫っていきけるようにする。

また、過去に植樹されたことのある木は何かを調べることで、学校林に植樹する木を選ぶ活動につなげていく。

○実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるために

自分たちの住んでいる地域と自然災害を関連付けて考え、全国で一番土砂災害の危険区域が多い県が広島県であることやハザードマップから中之町が危険であることを知ることで、自分たちの町を何とかしないとけないという必要感をもって課題解決に取り組むことができるようにする。また、中之町を守るために植樹するのにどんな木がよいのか木の特徴などを考えて調べることを通して、これからの中之町を守るためには何の木がよいのか自分事として考えることができるようにする。

(2) カリキュラムマネジメントを通して、各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせる手立て

○理科…「雨水のゆくえと地面のようす」

土砂災害を防止するための森林の役割について考える際に、雨水がしみこみやすい土壌やしみこみにくい土壌があることを関連づけてとらえることができるようにする。

○社会科…「自然災害からくらしを守る」

自然災害はどんな災害があるのか考える際に、本単元で習ったことを関連付けることで、広島県で起きた災害について考えることができるようにする。

(3) 学習ツールの活用

○ICT 機器

本学級の児童は、ICT 機器の活用に慣れ、比較的不自由なく操作できる技能を身に付けている児童が多数いるが、話し合いながら画面上の操作をする活動はあまり行っていない。したがって、場面に応じ、ICT 機器を活用する活動、直接手を動かしたり、体験したりする活動をバランスよく配置する必要がある。現時点での ICT 機器の活用計画は次の通りである。

- ・課題の設定…分かっていること、知りたいことを確認するため、大型テレビで写真や動画を視聴する。
- ・情報の収集…各自、クロームブックで調べ、情報の収集をする。
- ・整理・分析…視覚的に分かりやすく整理・分析できるよう、ピラミッドチャートを活用する。
- ・まとめ・表現…必要に応じてスライド・キャンバ・ジャムボードを自己選択し、発表する。

○思考ツール

本学級の児童は、総合的な学習の時間や国語科、社会科等の学習の中で思考ツールを活用する場面が少なく、慣れていない。現段階では、児童自身で目的に合う思考ツールを選択して活用できる段階には達していないが、教師とともに目的に合う思考ツールを選択することで、思考ツールの使い方を習得し、よさを感じられるように次の場面で活用する。

- ・主張を理由づける ……クラゲチャート
- ・情報を整理して焦点化する ……ピラミッドチャート

3 単元の評価

(1) 内容のまとめりごとの評価規準

| 評価の観点 | | 学習活動（小単元）における評価規準 |
|-------|------------|---|
| 知識・技能 | 知識 | 地域の人、ことのふれあいを通して、地域をよりよい町にしていくための人々の思いや願いを理解している。 |
| | 技能 | 情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。 |
| | コミュニケーション力 | 相手に応じて分かりやすくまとめ、相手を意識して表現している。 |

| | | | |
|---------------|-----------|--|--|
| 思考・判断・表現 | 「課題の設定」 | 課題解決力 | 自分たちを取り囲む事象との体験的な関わりを通して課題に気付いている。 |
| | 「情報の収集」 | | 情報の収集方法を知り、見通しをもって情報を集めている。 |
| | 「整理・分析」 | | 収集した情報を分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見付けている。 |
| | 「まとめ・表現」 | | 相手に応じて分かりやすくまとめ、様々な方法で表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 自己理解・他者理解 | | 活動の中で、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。 |
| | 主体性・協働性 | 主体性 | 人と関わる中で、自分のよさや自分にできることに気付き、探究課題に積極的に取り組もうとしている。 |
| | | 協働性 | 課題の解決に向け、身近な人と力を合わせて目的意識をもって意欲的に取り組もうとしている。 |
| 将来展望・社会参画 | | 実社会、実生活の課題解決に取り組む中で、積極的に社会に関わり、自己の生き方を考え、自らの生活や行動に生かそうとしている。 | |

4 指導計画（全 25 時間 本時 14/25）♥：三原だるまプラン「ショックー発型」

| 探究の過程 | | 学習活動 | 評価方法 |
|-------------------------|-----------------------|--|--|
| 資質・能力 | | | |
| 一 テーマ決定・仮の探究課題の設定・探究 | 課題の設定 主 課 | <p>○自然災害について考え、具体的に何を自然災害というのか知る。(1)</p> <p>○各班、7つの自然災害から担当を決め、調べる視点をそろえ、同じ担当同士で情報を集める。(2)</p> <p>〈調べる視点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの地域、季節に起こったのか、起こりやすいのか ・どういう災害なのか ・広島県や三原市は起きたことがあるのか ・災害対策について <p>○キャンバを使ってグループで整理しまとめる。(2)</p> <p>○自分の担当した自然災害について自分の班に伝える。(1)</p> <p>○どの災害も被害を小さくするための工夫をしていることに気付く。</p> <p>○社会科と関連付け、自然災害の中で、風水害が多いことを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 仮の探究課題：土砂災害が多い地域はどこだろう。 </div> <p>♥広島県の土砂災害警戒区域の数が全国で一番多いことを知る。</p> <p>○土砂災害を防ぐ取組を考え、今後の見通しをもつ。(1)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・発言 ・ワークシート ・行動観察 ・ワークシート ・成果物 |
| | 情報の収集 整理・分析 協 課 | | |
| | まとめ・表現 協 課 | | |
| | 課題の設定 主 | | |

| | | | |
|--------------------------|---|---|---|
| 二 真の探究課題の設定・活動のまとめ・ふりかえり | 情報の収集 | ○学習活動を振り返り、探究課題を更新する。(1) | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発言 ・行動観察 ・成果物 ・ワークシート ・発言 ・行動観察 ・成果物 ・発言 |
| | 協 主 課題の設定 主 協 情報の収集 課 主 整理・分析 協 主 まとめ・表現 主 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">真の探究課題：地域のために、自分ができることは何だろう。</div> ゴール：学校林に植樹し、自分たちの活動や土砂災害の対策を校内に広める。 ○植樹をすることが土砂災害を防ぐことにつながることを知る。 ○学校林を守るためにどんな木を植えることができるかフォレストサポートの方に相談する。(1) ○個人で木の特徴などを調べて、学校林に植えたい木を全体で取捨選択する。(12個)(2) ○木々の働きや花言葉について分担してグループで調べる。(2) ○学校林に植えるならどの木がよいか選択し、クラゲチャートを活用して理由付けて発表する。(1) ○個人で選んだ木をピラミッドチャートを活用して班の中で絞る。(1)【本時】 ○フォレストサポートの方に選択した木をプレゼンするためにキャンバ、スライド、ジャムボードのどれかを選択して作成、練習を各グループで行う。(5) ○フォレストサポートの方に向けて植樹させてほしい木についてプレゼンする。(1) ○学校林に植樹をする。(1) ○自分たちの活動や土砂災害の対策をどうやって校内に広めたら良いか考える。(4) | |

5 本時の学習

(1) 本時の目標

学校林を土砂災害から守るためにどの植物を植えたらよいか思考ツールを活用しながら、班でどの木がよいか共有して整理し、自分達が植樹したい木を決めることができる。

(2) 本時の評価規準（協働性のルーブリック）

B：自分の意見と仲間の意見を比べながら考え、仲間と共に学ぶよさを実感し、課題解決に向けて取り組もうとしている。

A：自分の意見と仲間の意見を比べながら考え、仲間と共に学ぶよさを実感し、仲間の考えを大切にしながら、課題解決に向けて取り組もうとしている。

(3) 本時の展開

| | 学習活動 | ○指導・支援 ★評価（評価方法） |
|-------|---|---|
| 課題の設定 | 1 問いと学習内容を振り返る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・これだけたくさんの木の種類があった。 ・全部植樹するにはお金がかかる。 ・どれが一番いいか1つ決めたらいいと思う。 ・木は何でもいいのかな。 </div> | ○前時に選んでいた木の写真を黒板に貼ることで、視覚的に事前に選んだ木をとらえさせ、前時を想起でき、情報を整理する必要感をもたせる。 |
| | 仲間の意見を聞き、学校林にどの木を植えるべきか考えよう | |
| 5分 | 2 本時の課題、探究の過程、本時で育成をめざす資質・能力を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・協働性 | ○全員で育成を目指す資質・能力として、本時で身に付ける力を設定し、どんな姿が達成した姿になるのか問うことで、協働性の姿を共通認識できるようにする。 |

| | | |
|-------------------------------|---|--|
| <p>25分</p> <p>情報の収集・整理・分析</p> | <p>3 個人の意見を班で交流し、整理する。</p> <p>それぞれ学校林に植樹したい木を班のみんなに伝え、ピラミッドチャートにまとめましょう。</p> <p>【活動の手順】</p> <p>①クラゲチャートを使って個人で選んだ木を理由付けしながら伝える。→ピラミッドチャートの一番下に張り付ける。</p> <p>②2人以上選んだ木はピラミッドチャートの下段から1段上にあげる。</p> <p>③上段した木の中からどれが特によいか班員が納得する2つを決める。</p> <p>④なぜその木が妥当なのか、理由を書き込む。</p> <p>4 全体で交流し、整理する。</p> <p>各班でまとめた内容を、全体で整理してみよう。</p> | <p>○話し合いのルールや視点をあらかじめ伝えておくことで話し合いを円滑に進めることができるようにする。</p> <p>[話し合いのルール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ木や思いを伝える。 ・話し合う。「同じです」「似ています」「少し違います」など仲間の話を聞きながら自分の意見を伝える。 ・疑問に思ったことは「質問があります」と質問する等、やり取りをしながら話し合う。 <p>○ピラミッドチャートを使って、理由を話し合いながらジャムボードに順位付けを行うことで、なんの木が良いのか整理できるようにする。</p> <p>★仲間の話を聞き、根拠や理由を述べながら自分の考えを伝えている。(発言・行動観察・付箋・ジャムボード)</p> <p>○各班の一番上になった木を、なぜその木なのか発表し、発表内容を板書することで、それぞれ選んだ木の良さや特徴を視覚的にとらえることができるようにする。</p> |
| <p>5分</p> <p>ふりかえり</p> | <p>5 学習のまとめをする。</p> <p>12種類の木の中から、松、桜、ケヤキ、栗、ミズナラの5種類にすることができた。</p> <p>6 学習の振り返りをする。</p> <p>今日の振り返りを書こう。</p> <p>私は、〇〇の木を植えるべきだと思ったけど、いろいろな人の意見を聞く中で、自分では思っていなかったことが聞けて、〇〇の木の方が、機能が高くいいなと思いました。次は、今日絞ることができた木をさらに3種類にしぼって、根について詳しく調べていきたいです。</p> | <p>○今日の学習でどんなところで目標の姿ができたと思うか、学習の振り返りを書かせることで、自分や友達の学び、学級の成長を実感できるようにする。</p> |

(4) 板書計画

11/15 防災 地域のために自分たちができることは何だろう

⑧

仲間の意見を聞き、どの木を学校林に植えるべきか考えよう

協働性

○

◎

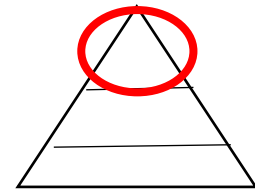
・・・理由

・・・理由

・・・理由

・・・理由

・・・理由



ま
1 2 種類の木の中から、
松、桜、ケヤキ、栗、ミズ
ナラの 5 種類にすること
ができた。